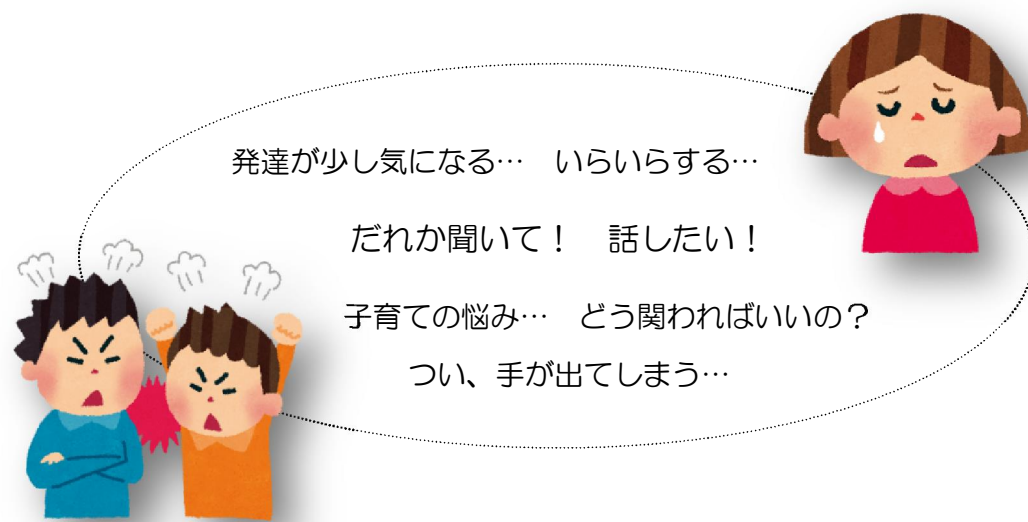


＊オリーブってどんなところ？・・・

児童家庭支援センター「オリーブ」は、子どもと家庭に関する問題について相談に応じる児童福祉施設です。地域に密着したきめ細やかな支援活動を行っています。



～ひとりで悩まないで…家庭のこと、子どものこと、一緒に考えませんか～

- 電話相談・来所相談・訪問相談
 - 相談料無料
 - 秘密厳守
- 必要に応じて臨床心理士によるカウンセリングも行っています。

＊千葉県から委託を受けている第2種社会福祉事業です。
「オリーブ」は夏休み中も通常どおりです。時間等の変更はありません。
月・水・木・金・日 9:00～18:00（祝日も開設）
〒270-0011 松戸市根木内 145（晴香園内2F）
TEL047-340-1151・1153



編集後記

冬号です。でも気持ちは春です。

旧暦では1年の始まりが立春。冬至と春分のちょうど真ん中。

そして冬と春の区切りが節分、立春の前日。・・・で合っていますか。

「暦の上では春ですが、、」とか、「春は名のみ、、」と手紙等の書き出しに使うことがあります、これは春なのに寒いじゃないか。春なのにぱっとしないじゃないか。という気持ちでしょうか。春びいきは私だけではない？

それはさておき、季節というものは上手く人の気持ちを切り替えてくれるように思います。

しかし時が過ぎるのを待つことしかできないのか、と焦りもがくのがちょうどこの時季のように感じます。

冬号のイラストを雪だるまにしたからかでしょうか。決して冬が嫌いなわけではありません。

訂正します。

「冬号です。もちろん冬も好きです。」



オリーブの実 2017. 冬号

発行 児童家庭支援センター オリーブ 松戸市根木内145

TEL 047-340-1151・1153

身近な相談支援センターとして

年頭にあたり、皆さんはどんな思いで新しい年を迎えられたでしょうか。申し上げるまでもなく、子どもさんたちは次の世代を担っていく大事な宝です。心身ともに健全で、社会で活躍する人間として成長されることを誰しも願うところですが、今の社会の現状は、子どもさんたちが健全な状態で成長できる環境にあるのかと思える事態が数多く起こっています。

平成28年5月に児童福祉法の一部が改正され、理念の明確化・児童虐待の発生予防・児童虐待発生時の迅速、的確な対応・被虐待児童への自立支援が改正されました。

児童家庭支援センターオリーブは、それらを踏まえ地域の身近な相談センターとして電話相談や来所相談、家庭訪問、心理士によるカウンセリング・プレイセラピーなどの支援を行っています。保護者の気持ちに寄り添いながら、お子さまの思いにも気づけるような関係作り、人と人をつなげていく役割を担っていけたらと思っております。

また、2月には子育て中の保護者を対象に「永瀬春美先生」をお招きして地域講座を開催致します。子育てのヒントがワークの中にもたくさん出てきますので是非ご参加下さい。お待ちしております。



児童家庭支援センター オリーブ地域講座
～永瀬春美先生の子育てワーク講座～

「叱りすぎて後悔すること、ありませんか？」



永瀬春美先生のプロフィール

NPO 法人子育てひろばほわほわ顧問、子育て相談室いっぽいぽ主宰看護師、心理カウンセラー
「大学や専門学校で看護師や保育士の養成教育に携わっていましたが、現場が好きで、保育園看護師を経て現在は地元の子育てひろばで相談活動を行っています。

また最近、地域で活動する子育て支援スタッフのための各種研修会や保護者向けの子育て講座などで講師を務める機会も多くなっています。」

対象：1歳～3歳の保護者

日時：2017年2月23日（木）10:30～12:00

場所：社会福祉法人晴香（晴香園）多目的ホール

定員：先着12名（無料の託児あり 10名まで）

☆申込み 児童家庭支援センター オリーブ ☎047-340-1151/1153



こころのはんもっく

大人には子どもに、スプーンをどう使うか、先生にどのように助けを求めたらいいかなど、生きていくために必要なスキルをその都度教えていく役があります。

しかし、その場でスキルを言葉だけで伝えても、子どもがそれを理解して、伝えられた通りに動くことは難しいように思います。しかも日常の煩雑な家事や仕事をしながらスキルを教えるというのは、非常に大変です。

でも事前に練習しておくことで、教えたいことが煩雑な日常に飲み込まれていく前に、子どもが吸収できるスキルを増やせるのではないのでしょうか。

いろいろな場面で、どのように行動すればよいかを話して(教えて)練習するには 3 つのステップがあります。

- 1、してほしい行動をそのまま話す（どういう時に、どうなったら、こうしてほしい）
- 2、一緒に練習する
- 3、練習ができたことをほめる、頭をなでる、その時になったらそうしてねと伝える

たとえば、映画館でトイレに行きたくなった時にどうしたらいいのかを話して(教えて)おくと、子どもがトイレに行きたくなって、困って大声を出したり泣いたりすることを防ぐことができます。

この場合を、上の 3 つのステップに当てはめて練習をします。

- 1、「映画館で映画を見ていてトイレに行きたくなった時は、これくらいの声で（小さな声で言う）『トイレに行きたい』と言ってね。」
- 2、「じゃあ今は映画を見ている時ね。それで〇〇ちゃんがトイレに行きたくなった時、なんて言おうか？」
「トイレに行きたい」
- 3、「よくできたね！これからはそうしてね。」

また、大声を出したり、泣いたりしても「この間練習したよね」と伝えることで子どもは思い出すことができます。思い出せたことも褒めるポイントです。
もちろん「トイレに行きたい」が言えたらもっと褒めます。

子どもが生活していく中で、必要なスキルを学ぶことは、一回だけでは難しいでしょう。そのために繰り返し練習することと、繰り返しほめることがセットになっていることが重要です。セットで練習することで、必要なスキルがより吸収されるのではないかと思います。

練習するってだいじ・・・



パティシエに聞く バレンタインに贈りたいガトー・ショコラ

～材料～

スイーツチョコレート	60 g（ミルクチョコでもブラックチョコでも ok）
バター	45 g（常温にしておく）
卵黄	4 ケ
卵白	4 ケ
砂糖	20 g（→卵黄へ）
砂糖	75 g（→卵白へ）
生クリーム	60cc（植物性でも動物性でも ok）
薄力粉	30 g（→合わせて 2～3 回ふるう）
ココア	20 g ➡

～作り方～

- ① チョコレートをボールに入れ、湯せん（40～45℃）にかけて溶かす。溶けたらはずす。
- ② ガナッシュを作る。生クリームをボールに入れ、湯せんにつけて人肌まであたため、チョコレートの方に入れ混ぜる。
- ③ 卵黄に砂糖を入れ、白っぽく筋が見えるまでしっかり泡立てる。（寒い時期は湯せん）
- ④ バターをクリーム状にして粗熱の取れたチョコレートを混ぜ、③を 2～3 回に分けて入れる。
- ⑤ メレンゲを作る。大きめのボールに氷を入れる。その上に卵白をいれたボールをのせ、筋が見えるくらいまで泡立てる。（砂糖は入れないまま泡立てる）→筋が見えたら 1/3 の砂糖を入れる。→筋がはっきりと見えたら 1/3 の砂糖を入れる。→角が立つようになったら残りの 1/3 を入る→しっかりと角が立つまで泡立てる。
- ⑥ ④に⑤の 1/3 のメレンゲを入れしっかりと混ぜる。→さらに 1/3 のメレンゲを入れメレンゲが見えなくなるまで混ぜる。
→粉類（薄力粉+ココア）を入れ良く混ぜる。→残り 1/3 のメレンゲを入れメレンゲが見えなくなるまで混ぜる。
- ⑦ あらかじめ予熱しておいたオーブン（170℃～180℃）で 40～50 分位焼く。
- ⑧ 指で軽く押してみても、はねかえってきたら焼き上がり。
型のまま粗熱が取れるまで冷ましてから（1～2 時間はそのまま）、型から取り出す。
* そのままでも、粉糖を上からかけてもよし。波線の感覚を身につけよう！ by パティシエ



第 11 回 松戸子育てフェスティバル 2017 開催

☆ 日 時：2 月 26 日（日）10 時～15 時

☆ 場 所：ふれあい 22（健康福祉会館）で開催

2 階の情報相談コーナーでは、オリーブの心理士を含め、専門の相談員による子育て相談を実施します。

また、根木内こども館を含む 3 つのこども館で、手遊び等の出し物をします。それ以外にも、たくさんのイベントがありますので、是非遊びにきてください。

